

事務事業マネジメントシート(令和5年度実績と令和6年度計画)

令和6年8月20日更新

事務事業名		担い手育成総合支援事業					マニフェスト 関連		全庁横断 課題関連		集中改革 プラン関連	
総合 計画 体系	政策	6	産業の健康					所属部	産業振興部	課長名	坂本 卓博	
	施策	26	農業の振興					所属課	農政課	担当者名	安武 恒一	
	施策の柱	70	後継者の育成					所属班	農政班	(内線)	5222	
予算科目	会計 一般	款 6	項 1	目 8	事業連番 10278	根拠 法令	担い手育成総合支援協議会設置要領(H17.4.1 16経営第 8837号農林水産省経					
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 5年度で終了 <input type="checkbox"/> 5年度から開始			事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 □期間限定複数年度 (~ 年度) 年)		18			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	経営改善に取り組む農業担い手に対する支援や業経営に関する各種施策を集中的・重点的に実施するため開始された。担い手育成として合志市担い手育成総合支援協議会での活動を主とし、県の担い手育成総合支援協議会から活動費の一部が助成される。また、法人化への活動及び法人化した組織に対する国・県からの補助金があり、当協議会を通しての県への申請となる。(取り組みがない場合もある)
【業務の流れ】	・農家から経営改善計画書: ①受付 ②関係課所属職員での事前審査 ③協議会での審査 ④認定書の交付 (認定農家の認定) ⑤認定農業者へ計画書達成のための補助事業等の周知・指導 ⑥再認定通知 ・ステップアップ事業: ①要望受付 ②計画要望採択申請 ③事業実施 (補助金) 申請 ④事業実施 ⑤完了検査 ⑥補助金請求 ⑦補助金交付
【主な予算費目】	報酬、職員手当等、旅費、需用費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	担い手育成総合支援協議会の活動を活性化し、これからの農業担い手の育成を図ってほしいとの意見がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分 6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 経営改善計画書作成指導、審査、認定書交付及び経営体育成支援事業の実施等 事業申請受付から補助金確定までの一連事務
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	①手筋(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 新規・拡充区分 6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 経営改善計画書作成指導、審査、認定書交付及び経営体育成支援事業の実施等 事業申請受付から補助金確定までの一連事務
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等農家	②対象指標(対象の大きさを表す指標) ②対象指標(対象の大きさを表す指標) ②対象指標(対象の大きさを表す指標)
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 認定農家を育成させる	③成果指標(意図の達成度を表す指標) ③成果指標(意図の達成度を表す指標) ③成果指標(意団の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 担い手農家とは認定農業者のことであり、農業センサスにおける主業農家の8割を認定農業者の目標数とし、農家戸数減少の中、担い手確保に努める。	総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア 件	件	31	43	25	0	40	95	40	25	
② 対象指標	ア 戸	戸	244	258	182	0	182	182	182	182	
③ 成果指標	ア %	%	1.3	1.08	1	1.49	1	1	1	1	
投 入 量	財 源 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円	80	828	1,190	1,101	1,101	1,190	1,190	1,190
		(A) 事業費計	千円	3,501	3,804	3,968	3,778	4,470	3,963	3,963	3,963
		(A)のうち指定経費	千円	59	57	60	60	63	60	60	60
		(A)のうち時間外・特勤	千円	59	57	60	60	63	60	60	60
人 件 費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	2 330	2 330	3 350	0 0	3 350	3 350	3 350	3 350	3 350
	(B)人件費計	千円	1,290	1,255	1,394	0	1,394	1,394	1,394	1,394	1,394
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,791	5,059	5,362	3,778	5,864	5,357	5,357	5,357	5,357

事務事業名	担い手育成総合支援事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (C H E C K)

*原則は 5年度の事後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒ 【原因 ↗】
	② 6年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒ 【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策 ↗】 目標とする認定農業者数は主業農家の8割としているため、現在の認定農家を維持していくことで達成できる見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒ 【理由 ↗】 定期的な学習会の実施及び支援事業等の周知により成果向上を目指す。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) □統廃合・連携ができる ⇒ 【理由 ↗】 □統廃合・連携ができない ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒ 【理由 ↗】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由 ↗】 協議会への活動助成金は費用弁償や研修会等であり削減は出来ない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由 ↗】 正職員以外での委託等、検討の余地はある。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒ 【理由 ↗】 認定農業者協議会等、組織的な事業、活動を行っている。
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒ 【理由 ↗】 担い手の育成と経営改善計画の認定は市が行なうべきである。

3 評価結果の総括 (C H E C K)

現在協議会は、認定農業者（経営改善計画）の認定会議が主な活動であるため、会員である県やJA等と協力して担い手に対してのなお一層の積極的な支援活動を図っていきたい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（A C T I O N）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善）
事業のやり方改善（効率性改善） 事業のやり方改善（公平性改善）
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

成績	向上	コスト		
		削減	維持	増加
維持				
低下				

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策